

令和元年 11月27日
農業技術センター技術普及部

標 題	「中国四国地域若い農業者のつどい」のプロジェクト発表で農業法人の雇用就農者が部門特別賞を受賞！全国大会へ
-----	--

(ダイジェスト)

11月7(木)～8日(金)、香川県高松市で開催された「第52回中国四国地域若い農業者のつどい」のプロジェクト発表において、島根県農林改良青年会議連絡協議会の会員が部門特別賞(農業経営部門:土地利用型作物)を受賞しました。

最優秀賞に次ぐ第2席となり、来年2月に行われる全国青年農業者会議に中国四国地域代表の一人として発表します。島根県からの発表は、昨年度の島根アジサイ研究会の取り組み発表に続いて、2年連続での出場です。

「中国四国地域若い農業者のつどい」は、中国四国地域の青年農業者等が一堂に会し、魅力ある農業・農村の創出や経営改善に向けて取り組んできた活動についてプロジェクト発表や意見発表を行うとともにバススクールによる先進地視察を通じて、相互交流と研鑽を図ることを目的に、毎年各県持ち回りで開催されています。

本年度は、香川県農業青年クラブが中心となって企画・運営され、初日のプロジェクト発表では6県から発表がありました。本県からは「JGAPで見た無駄とリスクと進む道」と題し、松江市のカンドファーム株式会社でお米生産部長をしている陰山真さんが、JGAP認証取得(2018年2月)に向けて従業員7名と一緒に取り組んだ経過とその波及効果について報告した結果、最優秀賞に次ぐ部門特別賞の受賞となり、全国大会へと進むことになりました。

いずれのプロジェクト発表とも素晴らしい内容でしたが、中でも本県の発表は、GAPは財務的な効果を数値化することが難しい中で、アグリノートを使用した労務管理や作業工程の管理は従業員による自立的な農場運営につながり、経営改善への波及効果が高いとの評価を得ました。

プロジェクト活動に取り組み、仲間の前で発表することは、青年農業者の成長を促す機会として有益であり、4Hクラブ活動の強化に向けた支援の重要性を再認識しました。

島根県農林改良青年会議連絡協議会が12月に行う冬季大会では、新規会員の掘り起こしに向けて、今回の発表に新規課題も含めてこれまで県内の会員が取り組んできたプロジェクト活動の発表を改めて行うことにしています。

※4Hとは、農業の改良と生活の改善に役立つ腕(Hands)を磨き、科学的に物を考えることのできる頭(Head)の訓練をし、誠実で友情に富む心(Heart)を培い、楽しく暮らし、元気で働くための健康(Health)を増進するという、同クラブの4つの信条の頭文字を総称したものです。